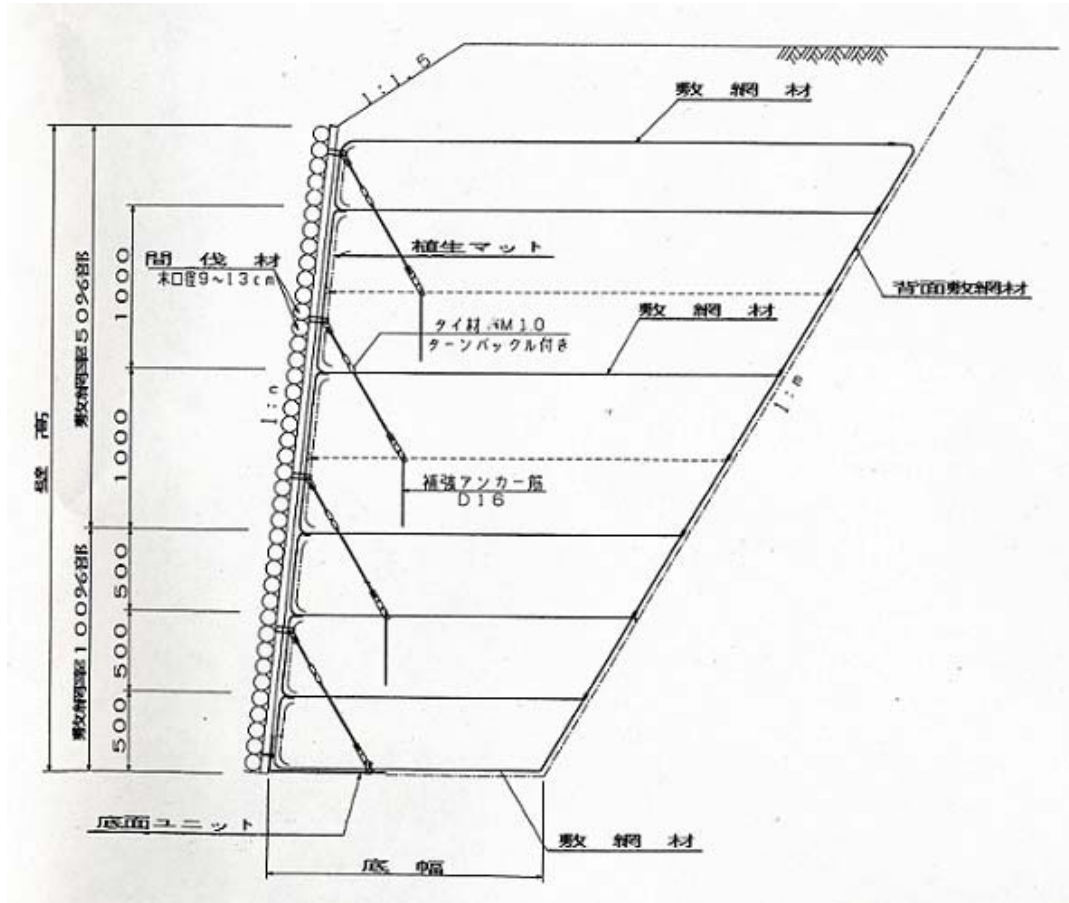


事例 NO. 2		
事業の種類	道路・街路	
環境配慮の概要	天然素材の活用による自然環境の保全 間伐材を用いた景観配慮	
事業名	森林居住環境整備事業 三谷塩明線開設工事	
事業主体	広島県(担当機関：芸北地域事務所農林局林務第二課)	
実施場所	広島県山県郡加計町大字加計	
実施期間	平成12年～平成14年	
事業概要	全体事業費	-
	施工区間等	ジオテキスタイル工法(間伐材利用による補強土壁)，施工区間：250m
	事業の目的・経緯等	中山間地域の林業地帯における林道開設において，天然資源の利用による環境に優しい工法として採用し，森林資源の持続的利用の観点から，間伐材等木材の利用推進を目的に実施した。
環境配慮の内容	<p>工法等</p> <p>(1) 林道の開設は，森林・林業の生産基盤の整備として，山地の形状に沿った線形や縦断勾配を採用し，必要最小限の形状変更，切盛土工量の均衡など森林環境に配慮したエコ林道として実施している。</p> <p>(2) 林業生産活動の活発な地域であり，地域で生産される間伐材等を利用し，周辺環境との調和と自然循環型資材による自然環境の保全を図っている。</p> <p>(3) ジオテキスタイル工法とは，盛土中に補強材を敷設することで垂直に近い壁面を構築できる土留め構造物で，補強材として帯状鋼材や高分子材による格子状や面状のジオテキスタイルを用いる補強土壁の一工法である。この工法の特徴は，垂直に近い壁面を構築できるほか壁面の緑化が容易であること，柔軟な構造であるため比較的軟弱な地盤においても構築が可能なのが挙げられる。このような特徴から，近年林道事業においても従来のコンクリート構造物に替わる構造物として数多く採用されており，コストの縮減のみならず，周辺環境への配慮にも貢献しているところである。</p>	
施工後の状況	<p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐材が植物誘導を促すとともにメンテナンスも不要なため，コストの縮減に有効である。 ・自然環境に溶け込んでいると同時に，多くの間伐材を使用するため，森林整備の促進による公益的機能の維持増進に効果がある。 	
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐材の耐久性・強度に関する検証をすすめ，間伐材を利用資材としての確立する必要がある。 ・間伐材の腐朽していく性質を利用した工法の検討が必要である。 	

(図面, 写真, 説明)



【標準断面図】



【施工後の状況】

出典